

** 地域の素材を再確認 **

町教育委員会は「地域にある素材に目を向け、その素晴らしさを生かす」ことを目的に、十月二十八日、町内からの参加者と関係者十五人で、紅葉真つ只中の筒上山登山を行いました。

筒上山は町の北部、高知県と愛媛県との県境に位置し標高一八五九㊦、山頂からは三百六十度見渡せ、近くには霊峰石鎚山や瓶ヶ森が望めます。また神様を祭った祠があります。

当日は雲一つない絶好の登山日和に恵まれ、早朝池川総合支所から車で安居溪谷奥の登山道入り口へ。十数人の下山者とすれ違いながら徒歩で登ること約二時間半で手箱越えに。ここで昼食を取りました。

手箱越えから見える木々は紅葉真つ盛りで、目の覚めるような赤や黄色が青い空に一層映え、きれいな情景を見せていました。

昼食を済ませ、一番の難所といわれる鎖を登り、眼下に

目の覚めるような紅葉の筒上山へ



山頂で記念撮影

紅葉を見ながら笹原の中を歩き、山頂を目指しました。三十分ほどで山頂にたどり着いた一行の目には、美しい山々の景色が飛び込み、しばし疲れも吹き飛ぶほど

の満足感と達成感とに浸っている様子でした。山頂で記念撮影をした後、土小屋へ下山しバスで帰路に着きこの日の登山を終えましたが、所要時間十二時間にも及ぶ行程にもかかわらず、参加者は終始足取りも軽やかで、山の素晴らしさに魅了された様子でした。自然という財産を大切に、町民のみならず町外の方にもこの素晴らしさを味わっていただきたいものです。

平家落人の姫の霊を慰める嫁入り行事

11月3日、谷山の佐婆為（さばえ）神社の冬の祭礼で、嫁入り行事が行われました。

その昔、平家の落人がこの地に落ち延びました。その中に美しい姫がいましたが、あるとき思いがけない事故で死んでしまいます。村人は姫の死を哀れみ、嫁入りをしないうちに他界した姫のために、儀式だけでも行い、霊を慰めようと始まった行事であると伝えられています。

この日も集落内の6人が花嫁、鼻高などに扮し、谷山集会所から佐婆為神社まで練り歩きました。

谷山の佐婆為神社 冬の祭礼



左から3人目が花嫁。この6人で練り歩きます

集落見聞録

(第24回)

つえだまり

潰溜

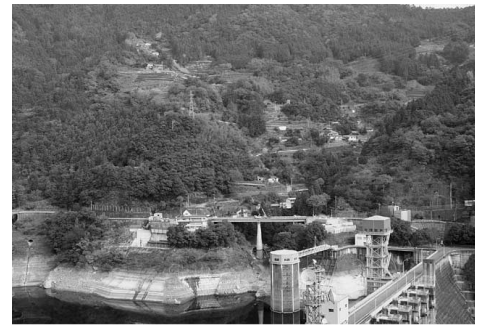


日浦 秀男さん

区長の日浦秀男さんに、集落の年中行事の中で、珍しい言い伝えがあるものをお聞きしました。

落出之釜龍王神社の川祭り
この神社にある「えんこう鎮魂の碑」によると、集落を流れる溪流が仁淀川にそそぐ所に「おちでの釜」という淵があり、えんこう（河童）が

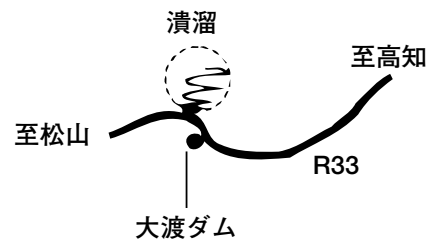
潰溜集落。手前は大渡ダム



潰溜は役場本庁から車で約15分。11月1日現在20世帯、42人の集落で、大渡ダムを眼下に望む眺めの良い場所にあります。

地名の由来は、字が表すとおり、その昔、山がつえて土砂が溜まった所、といわれています。

昔からお茶の栽培が盛んでしたが、最近ではギンナンを収穫するためにイチョウの木を植えたり、文旦を栽培している家もあります。黄色に色付いたイチョウが、畑のあちらこちで見られました。



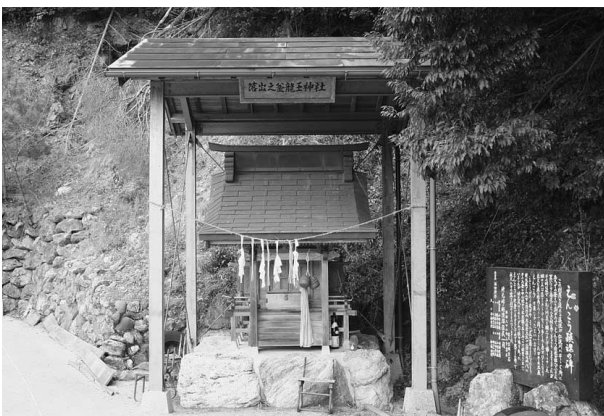
大渡ダムを望む眺めの良い場所 ダムにまつわる伝説も

め、集落の人々に相談したところ、それはダムで住み場を失ったえんこうの化身ではないかということになりました。集落ではこの石を譲り受け、永久にその霊を慰めることになり神社を建て、毎年土用の丑の日に川祭りを行うようになりました。

住んでいたということです。夏になると毎夜のように畑にあるきゅうりを取りに来ていましたが、そのときは必ずお札に川魚を棚につるして帰っていききました。しかし、あるときから、えんこうは来なくなりました。

このことがあって幾百年、大渡ダムの工事が始まり、工事関係者が「おちでの釜」の中心地で不思議な丸い石を見つけ、自宅で保管していました。

その後、この関係者の身边で不思議な出来事が続いたた



落出之釜龍王神社。石は祭りの日にしか見ることができません

不思議に思った漁師は、木の根っこのような物をじっくりと見てみると観音様に見えたため、お堂を建ててお祭りをするようになりました。



観音様を祭っているお堂

観音堂まつり
毎年一月十七日に行われています。
その昔、集落に住んでいる川漁師が漁をしていると、木の根っこのような物が綱にかかりました。すぐに川に捨てましたが、また次の漁のときにも同じ物が綱にかかり、これが数回続きました。

「火は見てる あなたが離れる その時を」 火の用心！町内で防火パレード



11月9日 ふたば保育所

パレードの前のセレモニーでは、日ごろお世話になっている消防関係者の方々にプレゼント。



11月7日 名野川保育所

保護者や地域の方々ともちつきをした後、ついたもちを配りながら、名野川商店街をパレード。



11月13日 長者保育所

セレモニーでは、鼓隊が息の合った演奏を披露し、その後保育所周辺をパレード。



11月9日 池川方面隊

青木幸雄町消防団長以下、分団員11人と佐川警察署員、関係者らが池川地区をパレード。

地域教育便り

携帯電話の危険性

保護者が子どもに持たせた理由としては、「家族内での連絡用」が圧倒的です。しかし、子どもたちは家族との通話より友達とのメール機能をよく使い、携帯電話からインターネットに入っていくケースも多いようです。

二〇〇七年一月で、携帯電話とPHSを合わせた契約数は一億を超え、日本人の約八割がこれらを持っている計算になります。当然の中には子どもたちも含まれ、校種別では小学―三割・中学―七割・高校―九割の児童生徒が「自分の携帯電話」を持っているようです。

「我が子が危険と直結する」これは、先日朝日新聞が携帯電話の危険性を扱った記事のタイトルです。

「め」、出会い系サイトから「犯罪に巻き込まれる」など、多くの危険性をはらんでいることが懸念されています。すぐに連絡が取れるから、と安心のために持たせた電話。大切な子どもたちを守るため、生活や成長に合わせた使い方のマナーやルールを決めたり、危険性をきちんと話して聞かせるなど、家庭での会話・子どもへの働きかけが必要なのかもしれませんね。



このような中、携帯電話は子どもたちの生活と予想以上に深くつながり、すぐに返信しないと「友達の輪から外される」、書き込みでの「いじ

コミュニティバス 利用者三千人突破



ご利用ありがとうございます。
これからもコミュニティバスをよろしくお願いいたします。

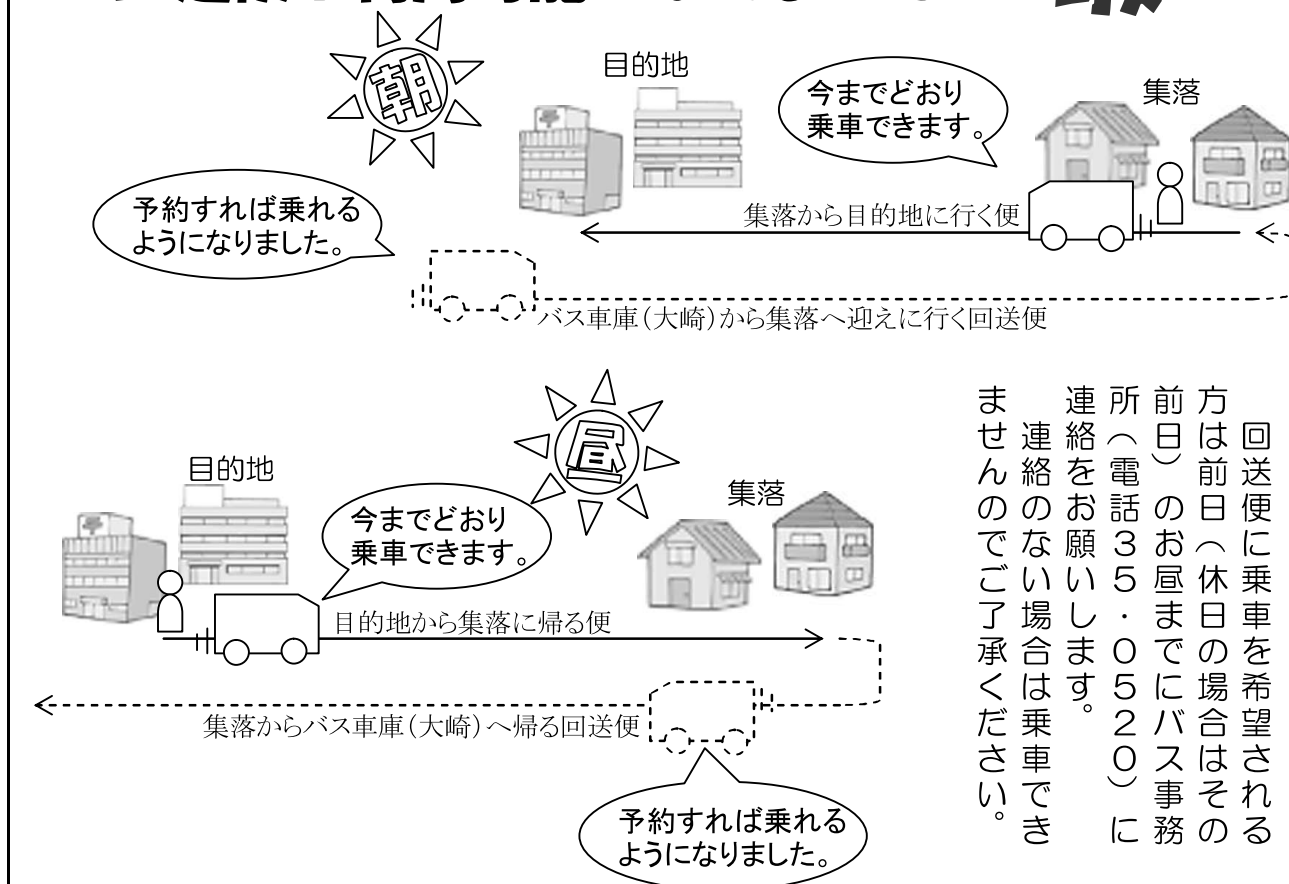
今年八月六日からコミュニティバスの運行を開始しました。その後、毎週約二百人の方々にご利用いただき、運行開始から三カ月余り過ぎた十一月十九日、利用延人数が三千人を突破しました。

今後身近な足として、コミュニティ（ふれあい）の場として、バスを利用していただきたいと思っています。

また、回送便にも予約すれば乗車できるようになりました。

《お願い》
バスに他の乗客の迷惑となるおそれのある物や車内を汚すおそれのある物などを持ち込まないように願います。

回送便が利用可能になりました



回送便に乗車を希望される方は前日（休日）の場合はその前日（お昼までにバス事務所へ電話 35・0520）に連絡をお願いします。連絡のない場合は乗車できませんのでご了承ください。

財産の活用は

町は行政の目的を達成するために土地、建物や物品、基金、などを管理運用しています。

また、財産はその目的に応じ、最も効果的に運用するように努めています。

しかし、中には遊休財産として十分活用されていないものもありますので、今後他の用途への変更や、地域での有効な活用方法を考えるなど新たな施設としての活用や借地している土地の代替地としての検討や売却などの処分を行い財産の整理を行う必要があります。



本庁舎
土地565坪 建物404坪



長者出張所・消防屯所
土地297坪 建物151坪



加枝の町有林
土地21,286坪



休校になった寺村小学校、今後の活用方法が検討されています

○公有財産

区 分	土 地 (地積)	建 物
本庁舎・各支所	993坪	1,329坪
警察・消防施設	268坪	299坪
学 校	22,276坪	8,321坪
公 営 住 宅	5,516坪	4,735坪
公 園	113,896坪	1,343坪
山 林	2,769,610坪	0
そ の 他	364,101坪	13,232坪
合 計	3,276,660坪 (10,831,981㎡)	29,259坪 (96,723㎡)



公売にかけたバス



役場公用車



消防車両

○主な物品（車両）

区 分	台数
四 輪 自 動 車	71
バ ス	20
消防関係車両	31
シ ョ ベ ル	2
ダ ンプ	4
高 所 作 業 車	1
ホイールローダ	2
塵 芥 処 理 車	1

車両の整理(処分)の状況

合併してから平成19年10月末までにバス4台、四輪自動車(旧町村の町村長車)2台、塵芥処理車、グレーダー各1台の公売を行い、283万円の収入がありました。

>>> 町の出資は 2 8 件で総額 2 2 億円 <<<



高吾北広域町村事務組合事務所(越知町)

ふるさと市町村圏基金

高吾北地域の広域活動計画に定める事業の推進を行い、広域の振興を図るため、佐川町、越知町とともに基金に積み立てて、広域事務組合で運用しています



ソニア佐川工場

(株) ソニア

林業の振興を図るための第3セクターです

区 分	金 額
(株) ソニア	10億3,500万円
(財) 仁淀川町介護公社 (現在は仁淀川町社会福祉協議会)	6億円
ふるさと市町村圏基金	4億3,834万円
仁淀川森林組合	4,425万円
アプロス株式会社	3,800万円
池川町ふるさと体験センター	3,000万円
高知県山村林業振興基金	1,283万円
仁淀川町開発公社	1,000万円
その他 (20件)	3,009万円
合 計	22億3,851万円

出資の中には(株)ソニアなど合併前の町村毎に出資していたものを合算したものやアプロス株式会社のように旧町村だけで出資したものがあります。また、出資しているものについては、その原資が有効に活用されることが求められています。

※表中の面積、金額、台数は平成18年度末現在のものです。